

COP31ジャパン・パビリオン開催地展示採択技術一覧

No.	企業・団体名	応募技術名
1	株式会社アークエッジ・スペース	衛星・IoT・AIによる気候変動対策統合ソリューション
2	AGC株式会社	再生可能エネルギーなどの低炭素電力による水電解水素製造・燃料電池利用を効率化させる膜素材
3	カナデビア株式会社	気候変動レジリエンスを強化するエネルギー・水のパッケージ・ソリューション
4	JFEエンジニアリング株式会社	廃棄物ガス化によるケミカルリサイクル技術
5	株式会社商船三井	創業142年の海事知見を結集し、風力とデータ・AIで加速する次世代効率運航技術
6	大成建設株式会社	建物・インフラ建設分野における日本発脱炭素技術の世界展開
7	ダイキン工業株式会社	建築物のライフサイクル全体でCO ₂ を削減する省エネ・電化・冷媒回収ソリューション
8	株式会社竹中工務店(木造建築)	森林グランドサイクル®による経済循環の創出と都市木造を可能にする木のイノベーション
9	株式会社地圏環境テクノロジー	本邦流域水循環シミュレーションシステムを用いた「早期洪水・渇水警報システム」
10	(株)TERRA、持続社会連携推進機構アースシェルパ、 (株)TERRA INTERNATIONAL	フィルム型ペロブスカイト太陽電池を活用した営農型及び都市型ソーラーシェアリング社会導入技術
11	日本CCS調査株式会社	CCS技術～苫小牧CCS実証試験で得られた成果と今後の事業展開
12	株式会社平和化学工業所	未利用資源・難再資源化廃棄物を活用した循環型素材製造技術
13	三菱重工業株式会社	三菱重工の社会の安定を支えるレジリエンス技術と将来を見据えた脱炭素ソリューション
14	三菱電機株式会社、衛星データサービス株式会社、株式会社三菱UFJ銀行	衛星GHGデータでつなぐ脱炭素・エネルギー移行支援
15	株式会社LIXIL	プラスチックとアルミの資源循環で創る脱炭素の未来—循環型素材が広げる新たな可能性

「建物・インフラ建設分野における日本発脱炭素技術の世界展開」については大成建設株式会社より
出展辞退の申し出があった（2026年10月30日修正）。